

戦評用紙

大会名	平成25年度山形県男女総合バスケットボール選手権大会
-----	----------------------------

日時	2013年10月20日13:30～	区分	山形県バスケットボール協会
----	-------------------	----	---------------

チームA				チームB
Yamagata Kubera				吹浦クラブ
83	17	1Q	12	66
	20	2Q	20	
	21	3Q	17	
	25	4Q	17	
		延長		

【戦評】

両軍マンツーマンでスタート。吹浦#32のカットインで得点、Kubera#55のジャンプシュートで初得点。吹浦#1の1on1で6-6の同点となる。Kuberaはその後確実に加点し、吹浦は攻めあぐむ。Kuberaは#22のスリーポイントで11-6とし、残り4分44秒で吹浦がチャージタイムアウト。Kubera#79の速攻で15-8とするも吹浦も追い上げ、残り30秒で吹浦#77が速攻で加点し、1Qを17-12で終える。

2Qも双方マンツーマンでスタート。Kubera#19がゴール下のシュートを決めると吹浦#1もシュートを決め、Kubera#19と吹浦#1の得点が続く。1Qより転回が速くなり、Kubera#9,#22の連続スリーポイントで残り7分で27-16とKuberaがリードする。その後はKuberaがゴール下を中心に、一方吹浦は身体能力を活かした1on1を中心に攻め、点差が徐々に縮まり、残り3分でKuberaがチャージタイムアウト。残り1分46秒に吹浦#99のカットから、速攻を決め、33-29と追い上げるが、Kuberaも#9のカットインなどで加点し、前半を37-32で終える。

後半の出だしもマンツーマン。Kubera#55、吹浦#1の得点でスタートする。残り8分、吹浦#1のスリーポイントで43-39とするも、Kuberaは#10のゴール下で応戦する。吹浦は#32のカットインで得点し、45-43と2点差に詰め寄り、速い攻めから得点を重ね、残り5分のところで再び#32が得点し、48-47と1点差となる。その後Kuberaは、#33の個人技、#1のポストプレーなどで加点して差を広げ、3Qを58-49で終える。

4Qも双方マンツーマンでゲームを行い、Kuberaは長身選手#1のゴール下、#33の得点で差を広げるが、吹浦も#1のゴール下、#99の個人技で応戦する。残り6分40秒でKubera#22のスリーポイントで65-53とするも、吹浦も#99のスリーポイントを返し、65-56と食い下がる。しかし、Kuberaは#1,#10の高さを活かして加点し、残り3分11秒に71-61となったところで、吹浦がチャージタイムアウト。吹浦は残り2分からオールコートマンツーマンに切り替え、点差を縮めようとするが、Kuberaは#22のスリーポイントや#9の速攻などで着実に得点を積み重ね、点差は縮まらない。Kuberaは終始高さを活かした攻めで相手にリードを許さず、吹浦を下した。

戦評者

鈴木 由人

戦評用紙

大会名	平成25年度山形県男女総合バスケットボール選手権大会
-----	----------------------------

日時	2013年10月20日 12:00 ~	区分	山形県バスケットボール協会
----	---------------------	----	---------------

チームA				チームB
山形大学				山形商業
84	23	1Q	11	59
	21	2Q	16	
	24	3Q	18	
	16	4Q	14	
		延長		

【戦評】

1Q 山商#7のレイアップでスタート、山大#4のインサイドで返す。共にマンツーマンディフェンス、山商なかなかパスつながらず、5分経過時点で10-4と山大リード、パスカットからの速攻で14-4となり、残り4分13秒で山商チャージドタイムアウト。その後、山大オールマンツーマン、速いボールへの当たりから山商はシュートを決められない。オフェンスリバウンドもとられ、山商苦しい展開。パスカットからの速攻でフリースローを得るなど、終始山大ペースで1Qを終える。

2Q 山大#7(high)、#14(low)へのパスで得点、山商#6のスリーで返す。リバウンドからのシュートで連続得点しプレーにも積極性が出て、オフェンス、ディフェンスのリズムが出てくる。対して山大は#4のインサイドからのシュートで加点、山大激しいボールマンへの当たりで相手のミスを誘うも、山商もディフェンスの当たりを強くし、お互い得点が伸びない。その後、双方我慢の時間となったが、山大#9のパスカットからのレイアップで膠着状態から抜け出す。山商は#4のスリーで返す。山大#5のリバウンドからの得点で37-22となる。残り3分11秒で山商2回目のチャージドタイムアウト。山商#6のスリーポイント、山大#15のジャンプシュートが決まるが、そこから山商のミスから失点が続く、山大44-27のリードで2Qを終える。

3Q 山大オールコートマンツーマン、山商2-3ゾーンでスタート。山商#7のスリーが決まり、#4のハイポストからのシュート、#6のジャンプシュートで連続得点。山大得点できず、2分30秒44-36と差を詰める。残り7分00秒で山大#9のドライブインからのシュートが決まり後半初得点。その後、お互い得点を重ね、残り5分で50-40となる。残り4分13秒で山大#4のバスケットカウントで54-40となり、山商後半1回目のチャージドタイムアウト。山商は山大のオールコートマンツーマンによりパスをつなぐことができず、得点できない。その間、山大は得点を重ねる。山商残り1分で#8がスリーを決めるも、得点は68-43と差が開く。その後互いに得点し、68-45と山大がリードし3Qを終える。

4Q 双方マンツーマンでスタートし、山商#8のスリーポイントが決まる。残り7分5秒で74-48となり、山商後半2回目のチャージドタイムアウト。山商#10のインサイドのターンシュートで得点。しかし、山大は激しいディフェンスでシュートを許さず、相手のミスを誘い得点差は縮まらない。山大#9がドライブインからバスケットカウントを決めるなど逆に得点差を広げる。山大の速攻が決まり、残り3分21秒で83-53となったところで山商後半3回目のチャージドタイムアウト。その後山商#8、#7がスリーポイント決めるも、84-59で山大が勝利した。

戦評者

有坂 強志